

# 倉吉市長コメント

この度、「全国健康保険協会鳥取支部(協会けんぽ)」と倉吉市との間で「倉吉市民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結する運びとなったこと大変うれしく思います。

国民健康保険・後期高齢者医療・協会けんぽの被保険者数は、市民の約8割近くを占めており、この協定により相互に連携することで、医療費や健診の数値データを共有することができ、より精度の高いデータ分析を行うことができます。

また、協会けんぽと鳥取県国民健康保険団体連合会も協定を締結されており、県内の他の自治体との比較を行って、本市の健康課題の特徴を的確に見つけ出すこともできるようになります。

本市は県内でも健診受診率が低く、さまざまな受診率向上対策を実施していますが、必ずしも十分な効果が上がっていないことから、両者が連携し健康づくりの啓発や広報を行ない、健診の受診促進に向け、より充実した取組みを行っていきたいと考えています。

本市においては、生活習慣病の予防・健康寿命の延伸・生活の質の向上を図ることを目的に、「倉吉市いきいき健康・食育推進計画」を策定し、推進してきました。

今後、協会けんぽとの連携により、働き盛り世代への疾病予防や健康づくりを効果的に行うことで、高齢期を迎えてからの健康や介護の問題解決につながるものと考えています。

引き続き健康づくりを推進し、だれもが住み慣れた地域の中で、いきいきと生活する“くらしよい”倉吉市を目指していきたいと考えています。



倉吉市長  
石田 耕太郎

